

会議の名称	令和８年度 第１回 都城市国民健康保険運営協議会
日 時	令和８年８月５日（水）午後３時～午後４時
場 所	中央公民館１階 第５研修室
出席委員	森田委員、時任委員、福島委員、江夏委員、濱田委員、柿木原委員、山森委員、永友委員、六部一委員、川島委員
欠席委員	北別府委員、和田委員、落合委員
事務局	岩崎健康部長 保険年金課 河津課長、大井副課長、浜田主幹、大峯主幹、河野主幹、東専門員、肥田主事 健康課 半代課長、多田主幹、鍋島技師
傍聴者数	無
会議次第	1 開会 2 委嘱状交付 3 部長あいさつ 4 議事 （１）署名委員選出 （２）議題 ①国民健康保険事業の運営に関する協議会について ②国民健康保険財政運営の仕組みについて ③令和８年度当初予算の概要 ④被保険者数・世帯数の推移・傾向予測 ⑤令和８年度保険税本算定の状況と令和７年度との比較 ⑥令和７年度保険税収納状況と令和８年度の取組・目標 ⑦医療費の推移と増減要因の分析 ⑧医療費適正化への取組状況・目標 ⑨第３期宮崎県国民健康保険運営方針中間見直し 5 質疑 6 その他 7 閉会
配布資料	令和８年度第１回国民健康保険運営協議会次第 令和８年度第１回国民健康保険運営協議会
議 事 の 経 過	
発言者	議題・発言内容・決定事項
事務局	1 開会 2 委嘱状交付 3 部長あいさつ 4 議事 （１）議事録署名委員選出 （２）議題 ①～⑨ 資料 令和８年度第１回国民健康保険運営協議会 により説明

議長	事務局への質問、意見等はないか。
委員	ジェネリック医薬品使用率(資料p25)が、国の目標である80%を既に上回り、93%であるならば、差額通知の発送回数を年3回から減らしてはどうか？ 以前の運営協議会でも、郵便料抑制のため、発送回数を減らした方が良いのではないかとの意見があったと思うが、経費削減をする必要があるのではないか。
事務局	ジェネリック医薬品差額通知は来年度以降も年3回で考えている。医療費通知については、今年度は6回通知するが、令和9年度から年2回に変更する予定。
委員	収入が少なくなるのであれば、支出も減らす必要があると思う。
委員	はり・きゅう・あんま助成事業は、慰安目的では利用できないという認識で間違いないか。
事務局	お見込みのとおり。
委員	慰安目的で利用できるかと勘違いしている被保険者を見受けることがある。 はり・きゅう・あんま助成事業についても、ジェネリック医薬品差額通知同様、助成回数等を見直す必要があると思う。
事務局	令和15年度の県内統一に向け、他市町村等の状況を踏まえながら、回数等について今後検討していく。
議長	他に事務局への質問、意見等はないか。 (質問、意見無し) 5 質疑 (質疑なし) 6 その他 7 閉会

この会議録は、真正であることを認め、ここに署名する。

議長

杉本康雄

委員

濱田 邦朗